

REBIRTH of VALUE

新たな価値を生み出す複製技術

YAMAGIWA Contact Information

複製担当問い合わせ先

Email : rebirth@yamagiwa.co.jp



各営業所(P3)へも
お気軽にお問い合わせください。



伝統と現代の融合－未来に紡ぐ匠の業

復刻・修復とは
“ただあるものを綺麗にするだけでなく、
現代の技術で、忠実に再現するとともに、
安全性・機能性を付加し、美しさを再現する”
その場所で働き、訪れる人々のために
照明器具のもつ文化的価値は
次の時代へ残す財産だと
YAMAGIWA は考えます。

Table
of contents

01	YAMAGIWAについて	03
02	YAMAGIWAのバリュー	04
03	伝統技術紹介	06
04	復刻プロジェクトの進め方	08
05	復刻改修事例	10
06	プロジェクト実績	18

About
Yamagiwa
照明業界の
パイオニアとして

日本の照明業界におけるパイオニアとして革新的な
照明器具・技術を追求してきた YAMAGIWA

HISTORY

1923年秋葉原で電気資材の卸業として創業後、1954年に照明部を
設置。本格的に照明事業がスタートしました。

1964年、数々の欧米照明ブランドメーカーと提携し、輸入事業を開始。
また同年、照明外商部を設置し、美術館、オフィス、商業施設やホテルな
ど、公共・民間プロジェクトの照明を幅広く手掛けるようになります。
1960年代後半からはオリジナル照明器具の開発に踏み出しました。

1970年代には、照明デザインと技術部門を「LDヤマギワ研究所」・「ヤマ
ギワ工作所(現TEC)」・「TLヤマギワ研究所」として子会社設立。建築照
明を日本に本格導入し、多くの名作照明を生み出すとともに、優秀な照明
デザイナーがこの研究所から巣立っていきました。

1980年代に入り、「LIVING ART」をコンセプトに、照明器具だけでなく
インテリア・ライフスタイルのトータル提案の場としてLIVINAをオーブ
ン。LIVINA事業を多店舗展開。

1992年には、米国フランク・ロイド・ライト財団とライセンス契約締結。

1994年、ロングベストセラーになるFWLタリアセンシリーズを開発、製
造、販売開始。

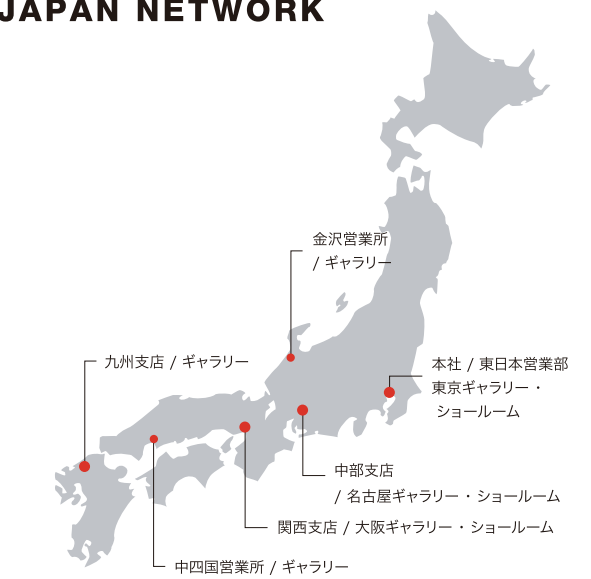
2007年、伊東豊雄デザインのMAYUHANA発表。1960年代後半に始
まったオリジナル照明器具開発では、これまでに70名を超える国内外の
建築家やデザイナーとのコラボレーションから数多くの作品が生まれて
います。

2013年、MARUWAグループの一員となり、高品位なLED光源の自社
開発、及び用途に合わせた付加価値の高い照明器具を開発・供給できる
体制を確立。

2020年、新たなCorporate Visionに基づくタグライン「THE ART OF
LIGHTING」制定。

2023年、創業100周年。

JAPAN NETWORK



- 本社 / 東日本営業部**
〒105-0014 東京都港区芝3丁目16番13号 MARUWAビル
(本社)TEL:03-6741-2300 (営業)TEL:03-5418-9061
- 東京ギャラリー・ショールーム**
〒107-0062 東京都港区芝3丁目16番13号 MARUWAビル3階
TEL:03-6741-5800
- 関西支店 / 大阪ギャラリー・ショールーム**
〒541-0053 大 阪府大阪市中央区本町4丁目1番7号 大阪第二有楽ビル9階
TEL:06-7638-0080
- 中部支店 / 名古屋ギャラリー・ショールーム**
〒450-0002 名 古屋市中村区名駅4丁目23番9号 MARUWA名駅ビル6階
TEL:052-588-8355
- 九州支店 / 展示ギャラリー**
〒812-0018 福岡市博多区住吉3丁目1番80号 オヌキ新博多ビル1階
TEL:092-283-8721
- 金沢営業所 / 展示ギャラリー**
〒920-0853 石川県金沢市本町1-7-2 みやび・る金沢102
TEL:076-222-6733
- 中四国営業所 / 展示ギャラリー**
〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル2階
TEL:082-504-8775

Why Yamagiwa

YAMAGIWAのバリュー

照明のプロフェッショナルと豊富な
商品ラインナップが実現するプロジェクトアプローチ

TECHNICAL VALUE：テクニカルチーム



YAMAGIWAには1970年代に設立された革新的な組織、「LDヤマギワ研究所」「ヤマギワ工作所(現TEC)」「TLヤマギワ研究所」の流れを継いだテクニカルチームが存在します。

テクニカルチームは特別仕様の照明器具の設計・製造を担当する「**TEC**」テクニカルエンジニアリングセンター、照明計画・デザインを統合的に担う「**PDC**」プランニングデザインセンター、上質な空間を演出する重要要素である調光・調色を担当する「**制御**」ライティングコントロールシステム設計部、LED光源開発と電源開発を担う「**LED光源・電源開発室**」で構成されています。

MANAGEMENT VALUE：営業チーム



全ての業務のコアとなるアカウント・マネージメント。
多種多様な市場・施設・フィールドにおいて、卓越したノウハウと経験値を高いレベルで発揮するチームです。
社内テクニカルチームの専門性と豊富な商品をリソースにクライアント、エンドユーザーに最適なソリューションを導き出す総合提案を実現。
照明プロデューサーの役割を担う営業スタイルは、まさにYAMAGIWAのDNAと言えます。

PRODUCT VALUE：豊富な商品ギャラリー・ショールーム

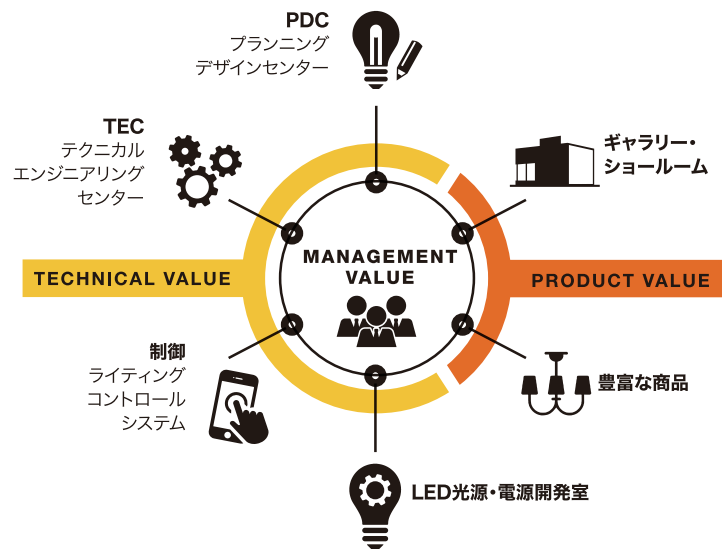


豊富なラインナップにはオリジナル照明器具に加え、輸入照明器具・家具を多数取り揃えています。個人向けレジデンシャル用から法人向けインテリア空間・建築施設・屋外用まで多岐にわたるコレクション。1954年の照明部発足以来築いてきた海外ブランドとの取引実績こそが、YAMAGIWAの財産なのです。数多くの魅力的な商品をギャラリー・ショールームで実際に見て検証していただき、ご要望に応じてモックアップも提供いたします。

INTEGRATED SOLUTION

この3つのVALUEが垣根を越え、
地域を超えてプロジェクトベースでベストチームを編成し、
クライアントの期待を超える最適解を提案・実行し、
最高の結果へと導きます。

私たちは、クライアントのベストパートナーになることを目指します。



TECテクニカルエンジニアリングセンター



TEC 特注照明器具

特別仕様の照明器具をゼロベースから設計。製造・検査・納品手配・施工監理まで一貫したサービスを提供します。



TEC 復刻・復元照明器具

文化財価値のある照明器具の復刻、老朽化した器具の復元・修復・LED化などにより、元の意匠のまま新しい見えを創り出します。



TEC 輸入照明器具日本仕様化

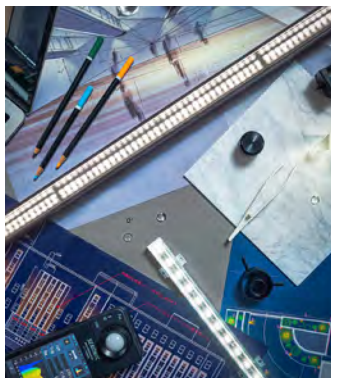
カタログに掲載されていない輸入照明器具の日本仕様化、輸入担当者と海外メーカーとの調整業務を担います。



PDC プランニングデザインセンター



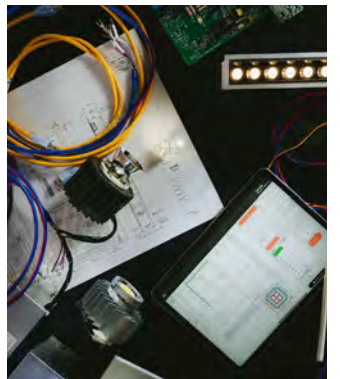
様々な建築・インテリアデザインにマッチした総合的照明プランニングとデザインを担当。コンセプト・配灯計画から施工での最終フォーカシングまで、最も効果的なソリューションを提供します。



制御 ライティングコントロールシステム



上質な環境・空間を演出するための調光・調色コントロールシステムを構築。空間デザインに最適な制御システム、調光盤・制御盤の設計、製造、納入、システムプログラミングからメンテナンスまで担当します。



LED光源・電源開発室



特注照明器具設計などに適合した高品質なオリジナルLED光源をグループ内で設計・開発。LED照明が不得意とする調光下限の再現をYAMAGIWA独自技術「GRACE Lighting Technology」で解消。高品位な0.1~100%までのグラデーションを実現します。



Our Technique

YAMAGIWAが誇る伝統技術

復刻復元照明ならではのYAMAGIWAのノウハウと
専門工業の匠たちの高い技術とのコラボレーション

他社にはないYAMAGIWAならではの取り組み方

◀古き良きに安全な価値観を

ただあるものを美しくするだけでは、
安全面で現在の基準をクリアすることはできません。
建築基準法に基づいた安全基準はもちろんのこと当社独自の厳しい基準をクリアする
耐震、構造設計を行います。次の時代につなげる新たな価値と安心を。



▲最も美しい光を操るプロ集団

「The Art Of Lighting」というビジョンを掲げるYAMAGIWA
光を極めた照明設計スタッフが最新のLED光源を用い、様々な角度から検証。
高い技術と徹底した美意識で、時代を超えた美しい光を蘇らせます。

◀歴史と伝統に敬意を

照明業界のバイオニアとして数々のオーダーメイド製品を生み出し、
時代をリードしてきたYAMAGIWA。
特注設計専任スタッフが製作された時代背景に敬意を払い、慎重に状況を読み解きます。
1枚の写真から、現代だからこそ可能なテクノロジーを用い、忠実に復刻いたします。
また当時の技術、加工方法、材料を熟知しているからこそできる最適な修復方法もご提案します。



時代をつなぐ復刻技術

復刻の美は細部に宿ります。

私たちが誇る専門工業の匠たちが高い技術を持って、YAMAGIWA とのコラボレーションにより、新しい時代へつなぐモノづくりを追求していきます。



ガラス

神秘的な輝きは復刻照明には不可欠。
忠実、斬新なデザインにも様々な手法で
新たな息吹を吹き込みます。



モデル型

ガラス、鋳物、樹脂成型と各分野において重要なファクター。3次元の表現には人の手が欠かせません。



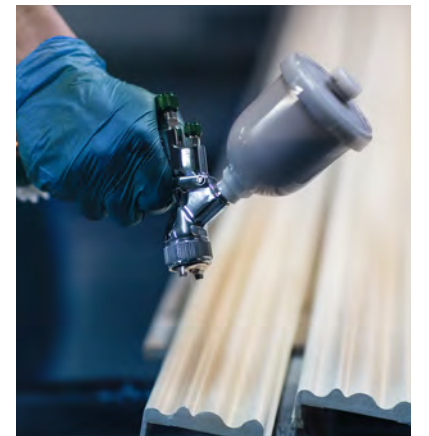
鋳物

黄銅（真鍮）、青銅（ブロンズ）、アルミニウム、など様々な表情を持つ鋳造は、復刻照明に重厚で豊かな存在感を醸し出します。



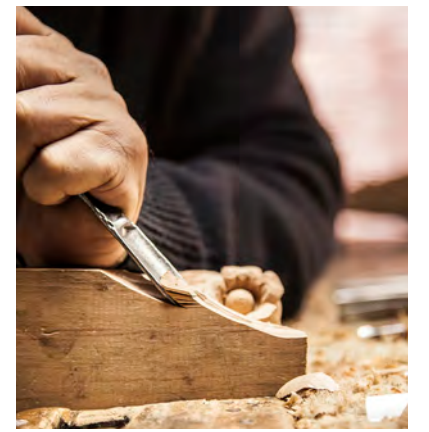
金箔

箔張りの持つ華やかで落ち着いた贅沢な質感は、豪華で強靭さを兼ね備え、永久の美しさを表現する伝統技法です。



特殊塗装

日々技術革新を続ける特殊な表面処理は、もはや塗装の域を超えた表現。フェイクとはいえない技が古の器具を蘇らせます。



木工

繊細な木工技術はその材料の見極めから。ひとつのピースの良し悪しが品質を左右し、全体の仕上りに大きく影響します。特殊な意匠への取り組みや、3D 組子にも対応可能です。

Our Process

復刻プロジェクトの進め方

YAMAGIWA が常に顧客志向に徹し
最適な照明環境をご提案するプロセスのご紹介

Q1. YAMAGIWAに頼むとどういうメリットがあるの？
他の企業と何が違うの？

A1. わたしたちは照明器具のプロ集団です。
古いものをただ修理するのではなく、時代の背景を読み解きながら
照明専門メーカーとして、現在の安全基準に沿った耐震や
LED光源を用いた最適な光をご提案します。

Q2. 実際に見に来てもらって
見積もりしてもらえるの？

A2. ぜひご相談ください。
実物を見ないとわからないことが多いのが照明です。
専任のスタッフがお伺いし、
最適なご提案と見積もりをいたします。
※対応できないエリアもございますので一度ご相談ください。

Q3. どのくらい時間がかかるの？
コストは？

A3. 商品によって異なります。
使用年数や製品の構造により検討する内容が変わります。
実際に現物を確認した上で、責任をもってご提案いたします。
商品によっては半年以上を要することもあります。

Q4. 空間全体の照明環境も相談できるの？
LED化も視野に入れたい！

A4. 照明空間のあらゆる要望にお応えします。
照明プランニング・デザインを専門に行うデザイナーが
所属しております。ぜひご要望をお聞かせください。



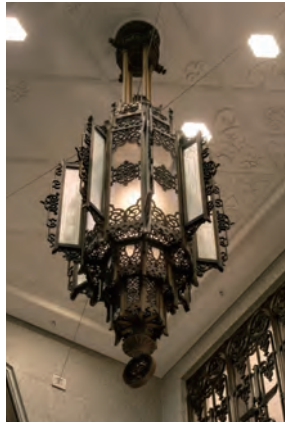
伊勢丹新宿本店正面玄関復元

開店当時の正面玄関を忠実に蘇らせることで
重厚で荘厳な雰囲気醸し出し、新たな価値と美を創造する

1933 年（昭和 8 年）開店当時の正面玄関を復元。戦時中の 1941 年に金属類回収令により、シャンデリア・ブラケットなどを撤去、提出。
その後改修などで装飾や位置などが変化してきましたが、現在も建設当時のまま残っている部分と、当時の竣工写真をもとに、可能な限り忠実に復元を施しました。当時の素材、技術に基づき全てのパーツを青銅鋳物にて精製し、硫化いぶしにて仕上げてます。経年変化と共に重厚で荘厳な雰囲気に変化していきます。



外観



シャンデリア



ブラケット

所在地：東京都新宿区

主要用途：商業施設

設計(改修)：清水建設株式会社

照明計画：YAMAGIWA PDC

竣工(改修)：2013年3月

YAMAGIWAの完成までの取り組み

「蘇る新しい価値と美」

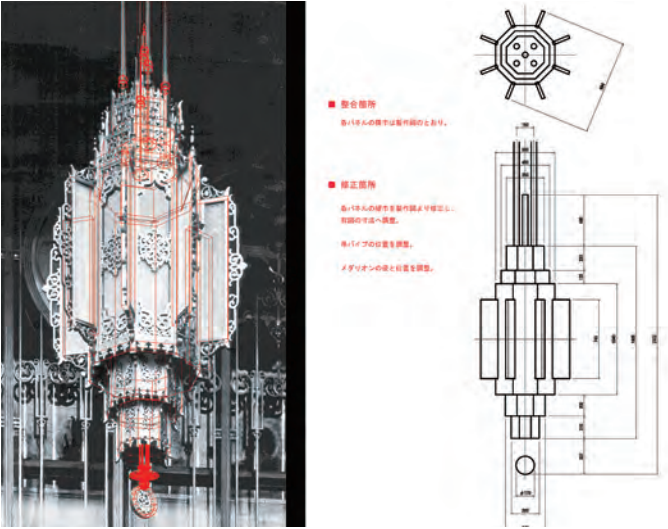
その裏側にはYAMAGIWAが“照明のプロフェッショナル”として真摯に向き合い、取り組んできた背景があります。

こだわりをもって、手間をかけるからこそ実現できる光環境を目指して、我々是一つ一つのプロジェクトに丁寧に対応いたします。

完成に至るまでの裏側を少しだけ紹介します。

初期形取

竣工当初の写真しかない状況だったため、その写真をもとに形取を行いました。全体のプロポーシオンを決定するための大切な作業となります。バランスを見ながら、微調整をして、大枠のサイズを決めていきました。



工場での見学および光の検証

お施主様に工場まで足を運んでいただき、鋳物の制作過程を実際に見て頂きます。そこで、より器具制作の過程を理解を深めていただくことで信頼感や安心感を持っていただければ、と考えます。実機も設置して、光の検証も一緒に行っていきます。



アカウント・
マネージメント



TEC
特注照明器具



TEC
復刻・復元照明器具



TEC
輸入照明器具
日本仕様化



PDC
プランニング
デザインセンター



制御
ライティング
コントロール
システム

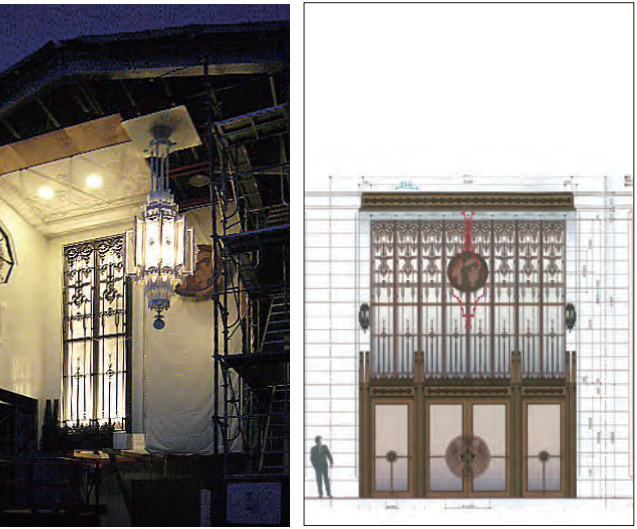


LED光源・
電源開発室



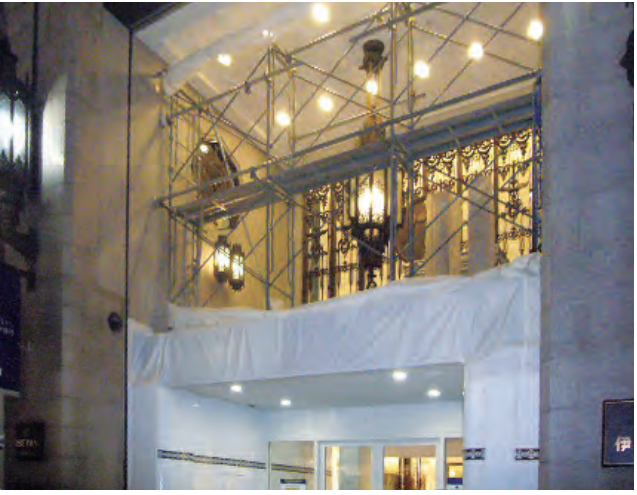
モックアップ実験・プレゼンテーション

原寸大でのモックアップ実験をすることで、実際の光環境や器具のボリューム等を検証します。尚、器具は、検証段階ですのでスチレンボード等により忠実に制作されたものとなっています。お施主様にも見て頂き、実際の見えを体感していただきます。



現場設置

いよいよ、器具を実際の現場に設置します。取付のための段取りや現場での指示等、YAMAGIWAが責任をもって対応させていただきます。店舗の営業をされながらの作業でしたが、滞りなく対応させていただき無事に納めることができました。



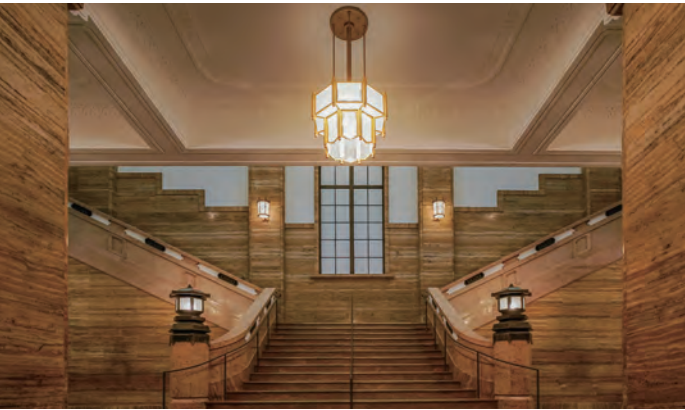
京都市京セラ美術館

歴史ある建築と新しい要素の調和による 新たな空間の創造へ

1933 年（昭和 8 年）に開館した現存最古の公立美術館建築である京都市美術館。創建当時の和洋が融合した建築意匠を保存しながら、現代的なデザインを加え、このたび新たに通称<京都市京セラ美術館>として生まれ変わりました。YAMAGIWA は、現存する照明器具の保存の観点から、現地調査を 2016 年より行いました。その結果、およそ 100 数点に及ぶ器具は、当時の雰囲気のまま現代の厳しい安全基準をクリアするとともに、最新 LED を使用することで成しえる新旧が調和した復刻・復原を実現しました。また全館主要エリアの照明計画・調光制御システムを担当し、全エリアでタブレットによる調光制御を実現しています。展示室には、従来のデザインを踏襲しながらも、最新の LED 照明を使用することで展示作品を最大限に生かす空間を創出しています。



外観



西広場



貴賓室

所在地：京都市左京区岡崎門勝寺
設計：青木淳・西澤徹夫設計共同体（基本設計・監修）
松村組・昭和設計（実地設計）
照明改修：YAMAGIWA PDC,TEC
竣工：2019 年 10 月

中央ホール

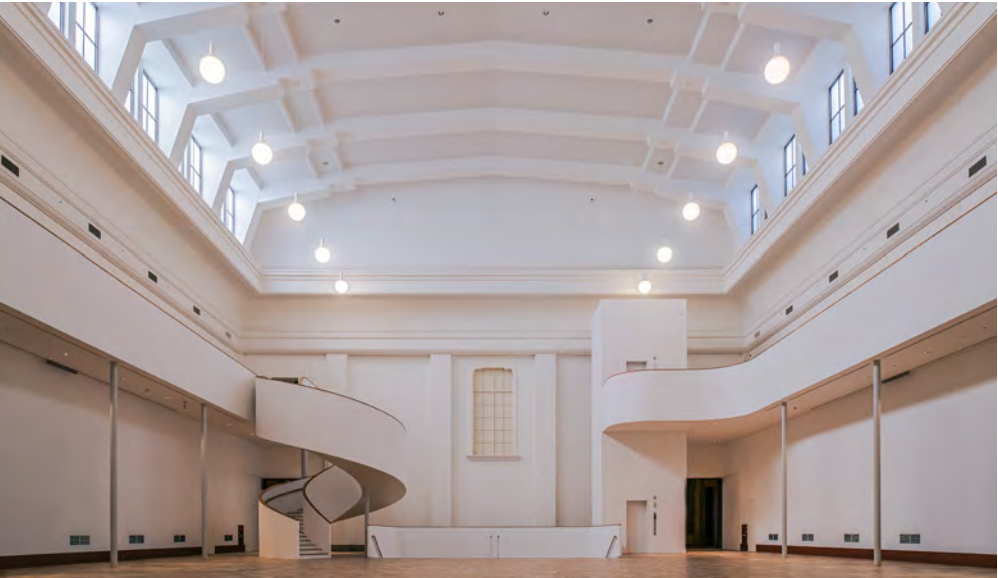
創建当時は丸グロブペンダントが使用されていた記録が残る中央ホール。2016 年調査時点では、全く異なる形のペンダントが吊られています。創建当時の形に復原すること、そして高天井のため明るさを重視するとともにメンテナンスフリーであることが求められました。



創建当時



改修前



改修後 中央ホール



修復プロセス

- ① 経験豊富な設計スタッフによる状態確認。一つ一つの器具の状態を確認しながら、傷めることがないように慎重に行われました。
- ② 照明器具を解体し、ガラスや細かな部品パーツの清掃を行った後に部品を戻していきます。熟練の腕により1つ1つ丁寧に組みあげられていきます。かつての意匠を最大限修復・保存。
- ③ 現代の耐震・安全基準を満たすため、新たな設計をご提案。全ての器具には構造補強が施されました。



①



②



③

アカウント・
マネージメント



TEC
特注照明器具



TEC
復刻・復元照明器具



TEC
輸入照明器具
日本仕様化



PDC
プランニング
デザインセンター



制御
ライティング
コントロール
システム



LED光源・
電源開発室



奈良ホテル

100年へ歴史を紡ぐ匠な修復・保存技術

関西の迎賓館と云われ、国賓・皇族の宿泊する迎賓館に準ずる施設として1909年に開業された奈良ホテル。桃山風の豪奢・華麗な意匠と重厚感あふれ、和洋折衷の美しい佇まいは、今もなお、訪れる人々を魅了してやみません。1922年、エドワード皇太子をお迎えする際に新調されたと伝わるメインダイニングルーム「三笠」のシャンデリア・ペンダント。歴史あるこのホテルの時を紡いできた照明器具を当時の趣きや精巧な作りはそのままに、耐震補強の観点から構造を再設計し修復いたしました。いつの時代も歴史に敬意をはらい、次の時代に変わらず残していく奈良ホテルの記憶を受け継ぐ一部となり、光りつづけます。



メインダイニングルーム「三笠」



昭和14年 イタリア軍人歓迎風景 写真提供：奈良ホテル様



外観

所在地：奈良市高畑町

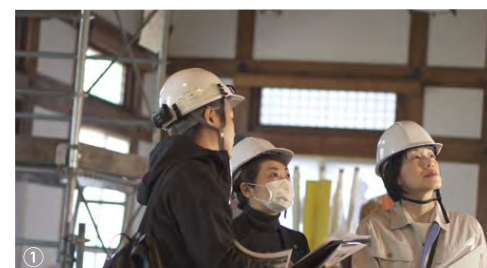
所要用途：ホテル

照明改修：YAMAGIWA TEC

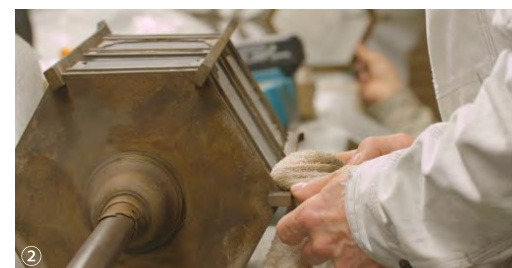
リニューアルオープン：2020年4月

照明専門メーカーならではの豊富な経験とノウハウ、YAMAGIWAならではの強み

100年を超える歴史をもつ奈良ホテル様の当初のご要望は、「趣きのある照明器具の風合いを残しLED化したい。」「次の世代に残すことができるものしたい」ということからスタート。しかしながら、現存する器具の構造では、現代の安全基準を満たすことができませんでした。わたしたちは、ただ清掃し、LED化するのではなく、その器具のもつ美しさをより一層美しく光らすこと、なにより次の100年へ残すための手段として安全に使用していただくことを最優先とし、最適なLEDへの交換と構造補強をご提案しました。



①



②



③



④

① 現地へ何度も訪問し、ヒアリングとご提案を行います。

② 表面の仕上げを傷つけないよう入念に仕上げて行きます。

③ 一つ一つ微妙に大きさが異なるため、パーツは1点1点微調整を行いながら組み立てます。

④ 点灯確認の様子。様々な角度から何度も明るさと美しく光るポイントを探し、最適なLEDをセレクトしました。



従来より明るい光源を選定し、適正照度を確保。調光にも対応することで、これまで大変だったメンテナンス性にも配慮した設計です。

アカウント・マネージメント



TEC 特注照明器具



TEC 復刻・復元照明器具



TEC 輸入照明器具 日本仕様化



PDC プランニング デザインセンター



制御 ライティング コントロール システム



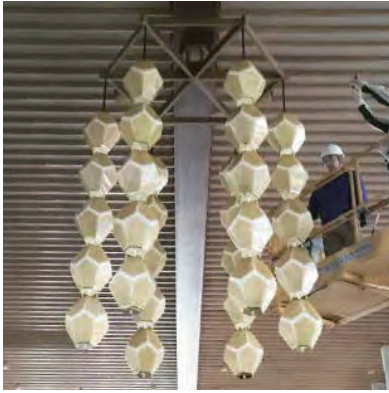
LED光源・電源開発室



The Okura Tokyo

ホテルを象徴するオークラ・ランタン 蘇える光と記憶

「The Okura Tokyo」の前身であるホテルオークラ東京。1962年に竣工され、建築家 谷口吉郎が設計した本館メインロビーは、“オークラ・ランタン”という愛称の照明によってやわらかな光で包まれていました。2019年9月に開業した「The Okura Tokyo」では、そのロビーの光を忠実に再現。象徴的な存在である、“オークラ・ランタン”の復刻制作が行われました。器具の外観や、光方の印象は変えずにLED化をする必要があり、部材の一部を再利用する等、建築解体前の器具の取り外しからシェードひとつひとつの検品、梱包、引き上げ後も再度ひとつひとつを採寸。状態の確認を丁寧に行い記録、再利用出来る部材を選定しました。また、再生にあたり安全面を最優先しながら、美しいデザインとのバランスも図りました。



再利用を優先する中で、内側のアクリルは新規で制作することが必須でした。難題は五角形のパネルを組み合わせることで、何度も試作を繰り返しながら、トータル1年をかけて110灯のランプシェードを完成させ最後の取付にいたるまで責任をもって監理対応いたしました。ホテルの広報の方々には、再生までの記録として組み立て工場やアクリル工場にて実際の製作工程を見ていただきました。



国立工芸館（東京国立近代美術館工芸館）

「これまで」と「これから」の時を繋ぐ光

2020年10月に石川県金沢市内にて正式開館をした「国立工芸館」。東京国立近代美術館工芸館が移転をする上で、金沢市内に現存していた明治期の旧陸軍施設である「旧陸軍第九師団司令部庁舎」（1898年建築）と「旧陸軍金沢偕行社」（1909年建築）といったいずれも国登録有形文化財である2棟を移築 / 再整備。改修工事において旧陸軍施設内で使用されていた意匠照明の復刻要望がありましたが、当時の正確な資料がなく、時代背景や年代の近い施設である青森県の「重要文化財旧弘前偕行社」や東京の国立工芸館へ訪問し、現存する意匠照明の実機調査や採寸により当時のデザインを再現。新たに国立工芸館用として復刻いたしました。復刻に当たっては、意匠も去ることながら機能や安全面にも配慮し、光源のLED化の他、免振機能を持たせたフランジや、落下防止の中通しワイヤー実装をした構造としています。



青森の旧弘前偕行社に現存するシャンデリアをモチーフに復刻。



多目的ホール
東京国立工芸館にて使用されている器具を忠実に再現。



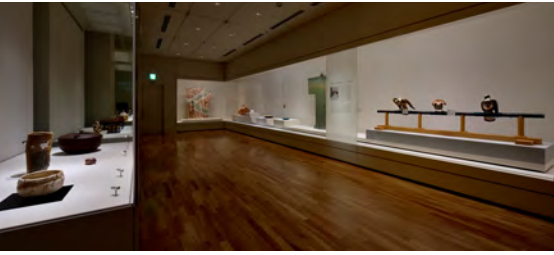
熟練のガラス職人により1つ1つ丁寧に制作。



ガラスセード：色味や花びら、形状を細部まで復元。



匠な技術をもつ工芸職人の手により、生まれ変わったパーツ。へら絞り加工、鋳物、複雑な板金加工を組み合わせることで従来品と全く遜色のないものを製作。



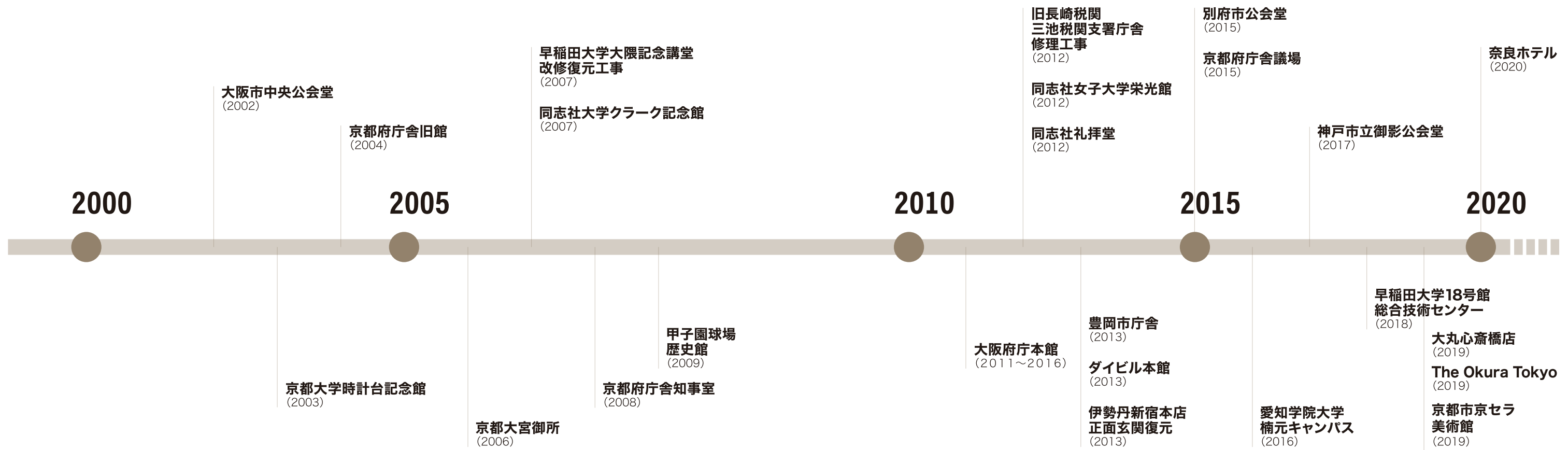
左：展示エリア
右：外観



Our Clients

プロジェクト実績

YAMAGIWAが関わった復刻プロジェクト実績



大阪市中央公会堂



同志社礼拝堂



ダイビル本館



別府市公会堂



愛知学院大学楠元キャンパス



神戸市立御影公会堂



早稲田大学18号館総合技術センター



大丸心斎橋店